

地域だより
東広島 景観から見える問題を解決に向けて本気で考えるシンポジウム
～これから生きる後世のために本気で想えば～

青年・女性委員会 副委員長 実森 尊信

「建築士の日」イベントとして、7月4日（土）広島県建築士会東広島支部主催の景観まちづくりシンポジウムを開催しました。定員を上回る77名もの参加者で、盛大に行うことができました。



一市民として、東広島市は市民、行政機関ともに他市に比べ景観への意識が低いと感じてきました。本シンポジウムを開催することにより、一人でも多くの参加者の方に景観に関心を持ってもらうきっかけを作りたい、もっと地域が個性あふれる美しい景観になれないか、更には、郷土愛を持った人を増やすことができないかを目的に開催したシンポジウムでした。当日は内容を2部構成とし、参加者全員でグループ討論を行いました。

【第1部】「景観から見えてくる様々な問題～問題提起～」として、私とその報告をしました。東広島市は急速な都市化により、これまで地域の個性であった赤瓦の景観などが失われつつあります。その現状から景観に目を向けるようになったこと、更にはスクラップ&ビルドの繰り返し、また工業化による住宅の大量生産などにより、地域の個性はもちろん、伝統技術の衰退、空き家の増加、産業廃棄物の増加、コスト削減による安価な建物が目立つ新興団地、これにより大量消費から森林伐採による環境破壊など、指摘していけばどこまでも様々な問題に繋がっていきます。これらの内容を基に、景観とはこれらの社会問題と密接に関係しているという内容の報告を行いました。

【第2部】 外部講師として石川県加賀市から、瀬戸 達先生をお招きして、「先進事例として、景観まちづくりとは」と題し、報告して頂きました。瀬戸先生は建築士会加賀支部に所属し、またNPO団体としても景観まちづくりについて、20年以上前から活動され、多くの実績を積んでおられます。加賀市自体も景観計画を設けていて、市内数カ所に重要伝統的建造物群保存地区もあり、景観に対する

市民意識の高い街でもあります。また、東広島と遠く離れた加賀市も、本市と同じ赤瓦の家が多く残っており、瀬戸先生はそれらの保存や再生に向けて日々取り組んでおられます。これらの先進事例としての報告と、東広島市における景観まちづくりへのアドバイスを頂きました。

瀬戸先生に、「なぜ景観まちづくりをされているのか」と伺ったところ、瀬戸先生は一言、「子どもに誇りを持ってもらえる街にしたいから」と言われました。この言葉がとて心に残りました。自分も生涯を掛けて取り組まないといけないと心に決めました。

東広島市を含めて、日本全体が高度成長期を終え、既に成熟した社会に入っています。今後の課題として、人口減少問題、超高齢化社会、環境問題、社会保障を含め国の借金問題など、挙げればきりがなく課題は山積みです。それでも、ものづくりの立場にある我々は常に形になるものをつくり残していきます。いつまでも新しいものをつくり続けるという発想だけでなく、ストックされているものをどうやって生かしていくかなど、考え方を考えていくべきなのではないかと感じています。

また、今の景観から分かるように、これまでは「文化」という言葉が抜けた社会になっています。今後、後世のために何を残していかなければいけないかを本気で見つけ、次の世代に繋げることが我々の使命なのではないでしょうか。

景観まちづくりは長期スパンで取り組まないといけません。次は実践的活動として、西条の街の真ん中を流れる小川を蛍の住める川に再生することを、他団体と連携して取り組む予定としています。

MONTHLY 建築士
No.107

IROSHIMA



表紙写真について

あいだの家

- 設計監理／藤井秀幸建築計画
- 施工／株式会社 大喜
- 所在地／広島市安佐南区
- 構造規模／木造 地上2階
- 敷地面積／210.39㎡
- 延床面積／75.16㎡
- 竣工／2014年7月



昭和の団地開発でできた広島市郊外の2つの団地にはさまれた隙間の、細長い段差のある、団地と団地の「あいだの家」。
敷地内の段差を有効活用しながら、擁壁の上空に跳ね出した箱をデザインとしています。

12mある建物の最奥まで、幾重にもアーチと壁の開口をくぐり抜けていく構成となっています。

また3カ所の吹き抜けにより、家の中のどこに居ても家族の雰囲気が伝わり合う住宅です。



CPD認定プログラム(11～12月の広島県内実施分)

10月11日現在

日時	プログラム名	単位	主催	連絡先
11/5	「建築工事安全施工技術指針・同解説 平成27年版」講習会	3	公共建築協会	03-3523-0381
11/6	中大規模木造設計セミナー	4	中大規模木造プレカット技術協会	0545-37-2465
11/17	建築技術者のための「鉄骨工事の積算」講習会	5	日本建築積算協会	082-221-9759
11/18	一級/二級/木造建築士定期講習(6D-03)	6	広島県建築士会	082-244-6830
11/21	景観シンポジウム「景観と屋外広告物のデザイン～まちを彩る屋外広告物～」	3	広島市都市整備局都市計画課	082-504-2277
11/28	住宅講演会「住宅建築家の流儀」	3	広島県建築士会	082-244-6830
11/30	講習会「高圧配電制御機器技術講座」	3	電気設備学会	03-6206-2720
12/1	「平成27年基準 公共建築工事積算基準の解説【建築工事編】」講習会	4	建築コスト管理システム研究所	03-3434-1530
12/2	「平成27年基準 公共建築工事積算基準の解説【設備工事編】」講習会	4	建築コスト管理システム研究所	03-3434-1530
12/2	呉建築セミナー	2	広島県建築士会呉地区支部	0823-25-0230
12/7	建設業における労働災害防止とリスクアセスメントの実践	6	インターウェーブ	099-812-0677
12/9	公共建築工事の積算講習会(広島)	5	経済調査会	03-3542-9291
12/10	被災建築物応急危険度判定士講習会	3	広島県建築士会	082-244-6830
12/11	第2回「建築構造用鋼材と利用技術セミナー」	3	日本鉄鋼連盟	03-3669-4815
12/16	一級/二級/木造建築士定期講習(6D-04)	6	広島県建築士会	082-244-6830

ぷろじえくと ニュース

島ごとアート「直島」を巡る見学会

尾道支部

今年度、日本遺産に認定された尾道。その尾道に支部を置く尾道支部の建築士会員は、その職能において、歴史や文化が色濃く残る尾道の街並みや景観、歴史的建造物に対する創造に直接関係深い建築士であり、尾道に住む建築士も市民も、その遺産を後世へ伝えていく重要な使命があります。

そこで、香川県の直島町において、国内外の優れたアート・デザインや自然と人間の繋がりを感じ、「在るものを活かし、無いものを創る」というコンセプトを体験。そのことにより、この分野に対する関心や創造性を高め、直島独自の地域活性化のモデルの1つに触れることで、地域の魅力を引き出す街づくりを学び、地元の建築士と市民の協働で“尾道らしさ”を残していけるヒントになればと思います、バスでの見学会を企画しました。

■日程

平成27年11月29日(日)

☆6:50-尾道駅集合 ☆19:00-尾道駅解散

■対象者および参加人数(有料)

一般者(高校生以上の非会員)と建築士会会員の計20名

■見学場所

- 地中美術館 ●ベネッセハウスミュージアム
- 家プロジェクト(ANDOMUSEUM)
- 直島銭湯「I♡湯」 ●海の駅「なおしま」



竹中工務店

守る、
創る、
思いやる、
ビルへ。



災害から人々の暮らしを守る。
エネルギーを創り、分けあう。
都市を、そして地球を思いやる。
これからのビルはこうじゃないとね。

思いをかたちに 未来へつなぐ
TAKENAKA

「より早く・より公正に・より親切に」をモットーに より確かなサービスを提供します

- 指定確認検査機関
- 登録住宅性能評価機関
- 指定構造計算適合性判定機関
- 登録建築物調査機関
- 適合証明業務(フラット35)
- 長期優良住宅認定審査業務
- 住宅瑕疵担保責任保険業務
- 調査診断業務(耐震診断等)
- 耐震診断判定業務
- 住宅省エネラベル適合性評価業務
- 建築物省エネルギー性能表示制度(BELS)評価業務
- すまい給付金関連業務



株式会社 ジェイ・イー・サポート

URL <http://www.jesupport.jp/>

本社 〒730-0029 広島市中区三川町7-1
TEL: 082-546-1378 FAX: 082-249-7190
支店: 東京

e-mail: mail@jesupport.jp

安全で安心な住まいづくりをサポートします。

- ◆ 建築確認・検査
- ◆ 住宅性能評価
- ◆ フラット35 適合証明
- ◆ 長期優良住宅技術審査
- ◆ 低炭素建築物技術審査
- ◆ 住宅かし担保責任保険

住宅保証機構(株) (まもりすまい保険)
(株)住宅あんしん保証 (あんしん住宅瑕疵保険)
(株)日本住宅保証検査機構 (JIO わが家の保険)
(株)ハウスジューメン (ハウスジューメン住宅かし保険)
ハウスプラス住宅保証(株) (ハウスプラスすまい保険)



指定確認検査機関・登録住宅性能評価機関

株式会社 広島建築住宅センター

URL: <http://www.hkjc.co.jp>

本社 〒730-0013 広島市中区八丁堀 15-10
TEL(082)228-2220 FAX(082)228-2231
営業所 〒720-0034 福山市若松町 8-22
TEL(084)928-3979 FAX(084)928-3974

一級建築士製図試験対策講習会

福山支部青年委員会 藤井 太郎

福山支部青年委員会では、講師に東京建築士会の会員でもある、「教育的ウラ指導」の荘司和樹さんを招いて、8月22・23日の両日、一級建築士製図試験対策講習会を開催しました。

近年の製図試験では図面以外にも周辺環境への配慮・構造計画・設備計画への配慮の記述により、これまでよりさらに幅広く深い知識が求められています。

そうしたことから、設計課題に近似した施設を見学することにより、施設の内容、使用方法、規模等を知り、

受験生の疑問を少しでも解消できればという思いから計画しています。

1日目は、市内のサービス付高齢者住宅を、設計者から試験的配慮などの解説を聞きながら見学。2日目は施設の解説、高齢者住宅の計画に必要な知識を構造・設備など分野ごとに分かりやすく解説して頂きました。

今年は、昨年の本講座を受講して見事に合格した広島支部のメンバーにもスタッフとして手伝って頂き、会員の仲間が少しずつですが増えているのを実感しました。



講話中の荘司和樹さん(右)



美味しいけんちく

1

好きなけんちくの中で、美味しいものを頂く一こんに楽しいことはありませんね。このコーナーでは、3回シリーズでミニ情報をお伝えします。是非、足を運んで下さい。

呉地区支部 宮崎 淑子

呉の海自カレー

海上自衛隊の多くの艦船では、毎週金曜日の昼食にカレーが食べられています。長い航海で曜日を忘れないようにするためなど、その理由には諸説あるようですが、艦船ごとに自慢のカレーレシピがあるそうです。そんな自衛官でないと食べられなかった「海自カレー」を、呉市内の飲食店で食べることができる、「呉海自カレー」が今年の4月から始まっています！

各店は、海上自衛隊呉基地所属の艦船の調理員から直接作り方を教わって、忠実に味を再現しています。例えば、「ク



「掃海母艦ぶんど」キーマカレー

レイトンベイホテル」のレストランでは「護衛艦いせ」のビーフカレー、居酒屋「八剣伝」では「潜水艦まきしお」のチキンカレーというように、現在21店舗でそれぞれ違った「海自カレー」が味わえます。

そうそう、呉市役所8階食堂にも「掃海母艦ぶんど」のキーマカレーがあります。たくさんの野菜が溶け込んだような深い味のおいしいカレーですよ。残念ながら、こちらは今年末の市役所新庁舎完成時点で終了します。

坂倉準三氏設計の現庁舎でしか食べられませんので、お早目に！

シールラリーも来年3月31日まで開催中で、点数によってピンバッジやカレースプーンなどの海自グッズがもらえます。全21レシピをコンプリートすれば、海上自衛隊で食事に使われる鉄板（ステンレスプレート）がプレゼントされます。

他では食べられない「呉海自カレー」。呉のまち歩きがてら食べ歩いて、お好みの味を見つけてみてはいかがでしょうか？その際は、各艦長の「これはうちのカレーだ！」とお墨付きの証し、お店に掲げた認定証もチェックしてみてくださいね！



呉市役所の新庁舎

広島・呉方面施設見学研修会

三原支部 永峯 龍一

9月13日（日）に、三原支部主催の見学会が開催されました。最初に行ったのは、広島市民球場（MAZDA Zoom-Zoom スタジアム広島）。ガイドさんの案内に従い、エレベーターで5階へ。団体でパーティーをしながら観戦できる「パーティーフロアー」や、スポーツ新聞などの記者が使用する記者室を案内して頂きました。その後、1周600mのコンコースを通り、BBQをしながら観戦ができる「びっくりテラス」や、グラウンドが目線の高さになる半地下につくられた「スポーツバー」を見学。再びコンコースを通り、ライト側外野席にある「寝ソベリア」で専用クッションを体験し、想像以上にくつろげることに驚きました。その後はレフト方向にコンコースを移動し、趣向を凝らした観客席を見ながら1階へ。3塁側の「砂かぶり席」へ着くと、ファウルゾーンが狭く造られているので、グラウンドとの近さを実感しました。

建設前はドームにすべきだとか、旧市民球場の場所にあるべきだとか、いろいろ話題になりました。今回の見学で、オープン球場ならではの選手に優しい天然芝球場であること。その天然芝の水やりや観客席の清掃、トイレの流し水に雨水を有効利用し、内野2階自由席の屋根上に560枚のソーラーパネルが設置され、ナイターの31.2試合分の節電が成されている、地球環境に優しいECO球場であること。見学会の後に分かったことですが、大雨などによる浸水被害を防ぐために、グラウンドの地下に貯留池が設置された周辺地域に優しい防災球場であること。周りの景観や自然の風を取り込むため、レフト側観客席をあえて削った観客に優しい非対称球場であること。雨天の影響を受けやすいオープン球場であるがゆえの試合中止を最小限に抑えるため、最先端の天気予想システムで球場上空の雨雲の把握に努める、選手や観客に優しいハイテク球場であること。「砂かぶり席」「寝ソベリア」、BBQをしながら観戦など、野球ファン以外にも楽しめるアイデアが満載のとても素敵な球場であると実感しました。

次はバスで移動し、呉市江田島町の旧海軍兵学校、「海上自衛隊第1術科学校・幹部候補生学校」の施設を見学。まず案内して頂いたのは、大正6年に能村知二氏によって設計された大講堂で、鉄骨煉瓦石造で外壁には瀬戸内海産の御影石（花崗岩）が使用されていました。海軍兵学校時代から現在まで入学式や卒業式、各記念式典で使用されているそうです。内部は天井がドーム型で、マイクなどは使用しなくても肉声で式が行える、音響効果の



役割を果たしています。その天井からは舵輪をかたどったシャンデリアが品良く吊り下げられていました。今年で98年経っているとは思えないほど綺麗に、しっかりと建ち、ヨーロッパの建物を感じさせる雰囲気でした。

次に通称「赤レンガ」と呼ばれる幹部候補生学校庁舎を見学。イギリス人のジョン・ダイアック氏の設計により、明治21年から5年かけて明治26年8月に完成。当時は海軍兵学校の生徒館として、その生活・教育のために使われたそうです。外壁の煉瓦は、通常200℃～300℃で焼かれるのに対し、700℃～800℃の高温で焼かれたものをイギリスより軍艦で運ばれたものだそうです。明治38年の安芸灘地震までは備前焼の瓦だったそうですが、地震により落下しそうな瓦を撤去し、現在のスレートに葺き替えたそうです。

兵学校建設当時より電線は地中に埋設するよう計画され、電柱が全くないすっきりとした敷地内を案内して頂き、最後に教育参考館を見学しました。ギリシャ神殿風の鉄筋コンクリート造2階建てで、昭和11年に建設され、歴史的資料等を保存する施設として使用されていたそうです。戦前は約40,000点の資料が保存されていましたが、終戦時、進駐軍による没収を恐れ、厳島神社や大山祇神社などに10,000点以上を奉納。残った半数以上が焼却処分されたとのこと。現在は奉納した資料などを回収し、約16,000点を保存。その内1,000点程が展示されており、勝海舟の書などを閲覧しました。その中でも特攻隊員の遺書に特に心打たれました。

終戦5年後の昭和25年に原爆により崩壊した街を復興させたいという思いでプロ野球チームが設立され、原っぱ球場から這い上がった広島東洋カープへの熱い思いが詰まった温かい球場を感じ、戦後70年という節目の年に、今の平和な世の中に導いてくれた多くの兵隊たちが生活し、勉強した空間に触れ、感謝の気持ちとこれからの平和への思いを強く感じられた見学会でした。

県外研修会「北九州・下関のリファイニング建築」

呉地区支部 田口 雄敏

9月27日の呉地区支部県外研修には、22名が参加しました。今回は、昨年12月に呉建築セミナーで「リファイニング建築」のご講演を頂いた、青木茂先生の作品の見学会です。

現地では、青木茂建築工房の協様より、「北九州市立戸畑図書館（北九州市戸畑区）」、「三宜楼（北九州市門司区）」、「満珠荘（下関市）」の3件について、解説して頂きながら見学しました。

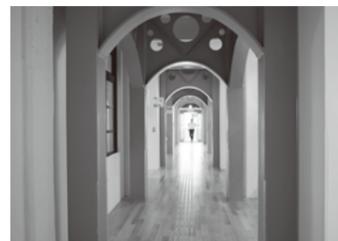
リファイニング建築（再生建築）とは、弱体化した構造躯体の耐震性能を、軽量化や補強によって現行レベルまで向上させるとともに、既存躯体の約80%を再利用して、コストを60～70%に抑さえ、意匠の転換や用途変更、設備の一新など、建物の長寿命化を図る手法です。

北九州市立戸畑図書館は、旧戸畑区役所庁舎を図書館として用途変更し再生された建物で、1933年に建設された地下1階、



北九州市立戸畑図書館

地上2階（1部3階）のRC造の建物は、3層の塔屋を中心に頂く、帝冠様式の重厚な外観が特徴です。その外観を保存するためには、内部のみでの補強が必要です。図書館としての見通しの良い空間と固定荷重を減らすた



め、鉄骨補強を選択していますが、アーチ形状の梁によって、通路高さが確保された圧迫感のない建物になっていると感じました。

「三宜楼」は、大規模木造のリファイニング建築です。昭和初期に建築され、料亭として営業していた大規模な木造3階建ての建物を、市民向けに安心・安全に活用できるように公開するため、当時の意匠を保存しつつ、木の耐震壁による耐震補強が成されています。戸畑図書館とは違い、補強していることを見せないというのがこの建物の特徴です。



「満珠荘」は老人休養ホームとして34年間利用されていましたが、アスベストの除去、耐震補強等の問題があったことから、宿泊施設へとリファイニングされました。南側の関門海峡への眺望に配慮して、ブレース等の視界を遮る補強要素を設けないことを前提とした耐震補強が成されています。また環境性能の向上、メンテナンス性、長寿命化・外壁のパッケージ、ユニバーサルデザイン化なども考慮された建物となっています。

今回は講演を聞いた後で実際の建物を見学するという、初めての研修となりました。現地で、設計に携われた方の解説を受けたことにより、一層リファイニング建築についての理解が深まったものと思っています。



平成27年度 中四国若手建築志(士)交流会 in やまぐち

広島支部 櫻庭 誠

9月25・26日、若手建築志(士)交流会が山口市で開催され、中四国9県から約80名の建築志(士)が集まり、交流を深めることができました。山口県は平成30年の「明治維新150年」に向け、幕末維新をテーマに様々なキャンペーンを展開されているようです。私自身も今回4回目となる交流会の参加ですが、ここで2日間の内容についてご紹介します。

●1日目は、山陰と山陽を結ぶ「萩往還」、国宝「瑠璃光寺」、伝建地区「佐々並市」の散策を行いました。

「萩往還」一江戸時代に日本海と瀬戸内をつなぐ重要道路及び参勤交代の御成道として整備され、後に幕末の志士達も往来した、ほぼ直線で結ぶ全長53kmの街道です。

今回散策で実際歩いたのは約3km程度ですが、急勾配、石畳の山道、日頃の運動不足もあり、散策といってもかなり大変な道のりでした。



「萩往還」散策

しかし、木々の間からこぼれる光、所々ひんやりする空気は、とても気持ちの良いものでした。

「瑠璃光寺」一室町時代に建立され、国宝であり日本3名塔の1つに数えられています。屋根は桧皮葺きで、



「瑠璃光寺」散策

2日目に実際に桧皮葺きの体験をさせて頂いたのですが、伝統工法を守り伝えていく大変さ、大切さを感じました。

「佐々並市」一萩

往還の中間地点に位置し、宿場町としても栄えた集落で、現在も町並みの地割に大きな変化はなく、特徴を示す建物が残っています。保存に向けて様々な取り組みが成されているようです。

●2日目は、桧皮葺き体験、大内塗り箸作りの体験ワークショップの2コースから選択でき、桧皮葺き体験コースに参加しました。



桧皮葺き体験

桧皮葺き体験では、桧皮葺きの説明及び実際に葺き材の桧皮拵え、葺きの体験をすることができました。桧皮葺きは、桧皮拵えに多くの時間と手間が掛かるようで、若い桧皮拵え師の育成、工法のPR等を通じて伝統技の継承に取り組まれているようです。

この2日間の交流会を通して、山口はあらためて歴史のある町であると感じ、街並みや伝統などを守る大変さや大切さを感じました。また中四国の建築志(士)の仲間達と交流でき、他県の活動など良い刺激を受けて帰路につくことができました。

●来年は、高知県で開催されます。ぜひ参加されたいかがでしょうか。

株式会社 ティーエス ハマモト

一級建築士事務所 ISO9001 認証取得



大規模修繕工事
各種環境対応事業
調査 診断 設計 施工

〒731-0135 広島市安佐南区長束4丁目16-2
TEL 082-238-1511 FAX 082-238-1513

指定確認検査機関(中国地方整備局長指定第1号) 登録住宅性能評価機関(中国地方整備局長登録第5号) 登録建築物調査機関(中国地方整備局長登録第1号)
認定低炭素住宅 長期優良住宅 建築確認 住宅瑕疵保険 フラット35 適合証明 住宅性能評価 住宅省エネラベル

ハウスプラス中国は
迅速、的確な審査で、皆様の建物の
安全、安心をサポートします。

中国エリアをすっぴりカバーしています

Energyia ハウスプラス中国住宅保証株式会社
http://www.jutakuhosho.com/

広島本店: 広島市中区国泰寺町1-3-32 国泰寺ビル1階
TEL: 082-545-5607 FAX: 082-545-5608
広島北支店: 広島市安佐南区西原6-9-40-7 TEL: 082-832-3310 FAX: 082-875-4330
福山支店: 福山市西深津町1-10-1 TEL: 084-973-9143 FAX: 084-973-9146